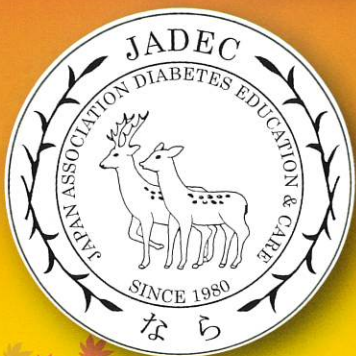




第62回 ダイアベティスウィーク



なら糖尿病デー 2026

入場・参加費
無料

[事前予約不要]

駐車場あり

外来診療棟奥
立体駐車場



糖尿病と体重

同時開催

天理ダイアベティス
ウォークラリー2026

〈9:30~11:30〉

●事前申込が必要です

●締切/11月8日まで

●定員30名(雨天は中止です)

●詳細をご確認ください →



メインホールでのイベント 13:00▶15:30 (詳細は裏面に)

看護師

歩き続けるために
足が教えてくれるサイン!
体型変化別おうちフットケア

薬剤師

薬で体重が変わるの!?
～そのヒミツ、なあぜ?～

臨床検査技師

検査戦隊リンケンジャー
～体重のサインを見逃すな～

理学療法士

体重を考慮した
運動療法の考え方

**歯科医師/
歯科衛生士**

その早食い、体重と血糖に
影響していませんか?

栄養士

NTE 栄養劇場
鹿野家の人々、
我慢する

医師

糖尿病と体重の関係
～やせたら血糖値は下がる?～

天理よろづ相談所病院
内分泌内科
実行委員長 松永 佐澄志先生

当日、多職種による医療相談を実施します。ご希望の方は当日受付でお申し出ください。

開催
日時

2026**11/15**(日)
12:00▶15:30

12:00 受付開始

13:00 公演開始

15:30 公演終了

開催
場所

天理よろづ相談所病院
外来診療棟5階講堂

〒632-8552 奈良県天理市三島町200番地



11月14日は「World Diabetes Day」

■主催 JADECなら(奈良県糖尿病協会) ■共催 奈良県糖尿病対策推進会議
■後援 奈良県歯科医師会/奈良県看護協会/奈良県病院薬剤師会/奈良県薬剤師会/
奈良県歯科衛生士会/奈良県栄養士会/奈良県臨床検査技師会/奈良県理学療法士協会

■問い合わせ先
(奈良県立医科大学 糖尿病・内分泌内科学講座)
JADECなら 事務局
(事務対応/毎週火・木 10:00~16:00まで)
0744-22-3051(代)





第62回 ダイアベティスウィーク なら糖尿病デー2026

テーマ

糖尿病と体重

糖尿病の予防や治療についての理解を深めていただくため、

毎年11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせて「なら糖尿病デー」を開催しています。

今年度は、ご家庭でも手軽に測定できる「体重」がテーマです。体重と糖尿病の切っても切れない関係や注意すべきこと、日頃の健康管理のポイントについて、わかりやすくお伝えします。

ぜひこの機会に、ご自身の健康や生活習慣について見つめ直してみませんか。



なら糖尿病デー2026

実行委員長 松永 佐澄志

メインホール(5階講堂)でのイベント 13:00▶15:30

看護師

歩き続けるために
足が教えてくれるサイン!
体型変化別おうちフットケア

毎日、私たちの体を支えている「足」。体重が増えたり減ったりすると、足への負担や足の状態も変化します。「いつもと違うな」と感じたら、それは足からのサインかもしれません。私たちと一緒に「足」について考えてみませんか?

臨床検査技師

検査戦隊リンケンジャー
～体重のサインを見逃すな～

「少し体重が増えたかも...」それは、体からのSOSかもしれません! リンケンジャーとハッピーデビルが繰り広げる寸劇でメタボリックシンドロームやインスリン抵抗性、糖尿病の合併症について学びませんか? みんなの健康を支えるヒーローが、臨床検査の視点から糖尿病と体重の深い関係を分かりやすく解説します。

歯科医師/
歯科衛生士

その早食い、体重と血糖に
影響していませんか?

食事の時間、短くありませんか? 早食いはなぜ起こり、体重や血糖にどう影響するのでしょうか。歯周病との関係も含め、あなたの「噛む力」をチェックしながら楽しく解説します。

薬剤師

薬で体重が変わるの!?
～そのヒミツ、なあぜ?～

最近、血糖を下げる効果だけでなく、体重が減ると話題になる薬があります。でも薬は、単に「やせる」ためのものではありません! 正しく使うことが大切です!! 薬で体重が変わるヒミツを、薬剤師が楽しく解き明かしていきます。

理学療法士

体重を考慮した
運動療法の考え方

運動療法を行うにあたって、体重が気になる方、筋力低下が心配な方、様々な方がいらっしゃいます。糖尿病に対する運動療法は、その人の体格や体力に合わせることが大切です。無理なく安全に続けるための運動の考え方を、わかりやすくお伝えしたいと思います。

栄養士

NTE
栄養
劇場

鹿野家の人々、
我慢する

肥満になると血糖値が不安定になるだけでなく、様々な合併症のリスクも高まります。糖尿病の食事療法は、単に食事量を減らせばよいというものではありません。正しい食習慣を身につけ、必要な栄養を過不足なくとることが大切です。あなたも一度食事内容を見直してみませんか?

医師

糖尿病と体重の関係
～やせたら血糖値は下がる?～

天理よろづ相談所病院
内分泌内科

実行委員長 松永 佐澄志先生

■問い合わせ先 JADECなら事務局 (事務対応/毎週火・木 10:00～16:00まで)

(奈良県立医科大学 糖尿病・内分泌内科学講座)

0744-22-3051(代)